

新型コロナウイルス感染症防止対策の「新しい生活様式」

緊急事態宣言が解除され、今までの生活が戻りつつありますが、「再度感染が拡大する可能性があり、長丁場に備え、感染拡大を予防する『新しい生活様式』に移行していく必要がある。」とし、厚生労働省から、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が公表されました。これからは、皆さんの生活様式を「コロナ対応」にしていかなければいけないということです。詳しくは、厚生労働省のWebページで！

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

【皆さん一人一人の 基本的な感染対策】として、下記のように行います。

- ① 身体的距離の確保（授業、手洗い場やトイレ、弁当購入の順番待ち）・・・ソーシャルディスタンス
- ② マスクの着用・・・足りない人は「手作り」で対応しよう
- ③ こまめな手洗い・手指消毒・・・タオルを準備するとよいでしょう
- ④ 咳エチケットの徹底
- ⑤ こまめに換気（これから熱くなり）
- ⑥ 3密の回避（活動などでの注意）
- ⑦ 毎朝体温測定、健康チェック、風邪症状の場合の療養
- ⑧ 日々の清掃・・・ドアノブ等の消毒
- ⑨ 昼食時での対面はしない、話さない



新型コロナウイルス感染症を理由とした「いじめ」や「偏見」

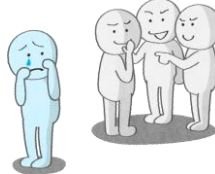
新型コロナ患者やその家族への嫌がらせ、医療従事者への誹謗中傷が増えているという報道が相次いでいます。

たとえば、感染者のいる家族や病院に「感染が広がったらお前らのせいだ」などという嫌がらせの電話を入れたり、医療現場で必死に戦っている医療従事者の子供を「ばい菌」扱いしたり、保育の受け入れを拒否したりなどのことが問題になっているそうです。

分析してみると。

- ・新型コロナに対する正しい知識を持っていない
 - ・いらいだから「誰かのせい」にしたい
 - ・日本人の排他的な国民性が浮き彫りになっている
- などとされています。

このウィルスと闘っている人達、特に、医療従事者には、感謝をしましょう。リスクを負い、最前線で働く人たちの足を引っ張るような行為、感染者への非難はマイナスでしかありません。球陽生として自覚を持った行動を心掛け、以下のことをお願いします。



- (1) 正しい知識に基づいて冷静に行動すること
- (2) そのために正確な情報を収集・把握することに努めること
- (3) 「いじめ」や「偏見」は決して許されることではないという理解の下、適切な対応をとること

ドライブスルー形式で資料配付

新型コロナウイルス感染症防止対策のためになかなか学校が始まらない中、学級担任や教科担任の顔も分からないまま、課題をこなす日々が続く、どうにかしなければと思い、学校開始を行う必要があると感じました。そこで、5月7日(木)は入学の日、5月8日(金)は始業の日とし皆さんには、ドライブスルー形式で来校してもらい、担任の顔合わせと引き続きの課題の配付も行いました。



夏休み！短縮です

一斉臨時休業が長期化し、約6週間授業ができないまま、今に至っています。生徒の皆さんの学習の遅れが懸念されており、授業時数の確保の必要から、夏季休業期間の短縮を行わなければならなくなりました。

- 5月末まで分散登校を行います。
- 6月1日から通常授業となる予定です。
- 夏休み・・・8月1日(土)～8月10日(月)
- 1学期終業式：7月31日(金)
- 2学期始業式：8月11日(火)